

## 第77回 宮城県高等学校 生徒理科研究発表会 実施要項

2024.7.30 送付版

- 1 目的 宮城県内高等学校の自然科学系部活動の成果発表の場として、生徒理科研究の普及・発展を図るとともに、生徒相互の部活動に対する理解を深める。自然科学を志す生徒の育成を目指す。
- 2 主催 宮城県高等学校文化連盟自然科学専門部、宮城県高等学校理科研究会
- 3 共催 東北大学大学院工学研究科
- 4 後援 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会
- 5 場所 東北大学サイエンスキャンパスホール ホール・ホワイエ、青葉記念会館、東北大学工学部 中央棟大講義室  
〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6
- 6 日時 **令和6年11月6日（水）**  
※ 時間は予定で、発表数によっては変更の可能性がある。  
8:30～8:40 役員打合せ（中央棟大講義室）  
8:45～ 受付開始、顧問打合せ（大講義室にて。受付は顧問が行ってください）  
生徒がポスター掲示等準備（各発表会場にて。遠方の学校については個別対応）  
9:00～ 審査打合せ（青葉記念会館）  
9:05～ 開会式（大講義室にて。顧問と各校代表生徒1～2名が参加）  
9:20～12:10 午前の部 発表・審査（発表4～5分＋質疑応答2～5分）  
※ 物理・化学・生物・地学 各分野ごとのスケジュールで進行。  
13:00～15:30 午後の部 発表・審査（発表4～5分＋質疑応答2～5分）  
15:40～16:30 特別講義（東北大学大学院環境科学研究科 成田 史生 教授）大講義室にて  
審査協議  
16:40～ 会場ごとにポスター片付け、撤去作業  
～17:00 終了、解散
- \* 各分野ごとに発表数に応じた会場を割り当て、スケジュールを組んで審査を行う。
  - \* すべての発表題のポスターは午前・午後を通して掲示し続け、聴衆に対して随時発表する。
  - \* 原則として、審査員の前での発表は午前または午後のいずれかに一回実施する。ただし、発表数が多い分野においては、1次審査と2次審査に分けて実施する場合がある。
  - \* 審査を行っているポスターの両隣以外は、聴衆に対して随時、説明や発表を行ってよい。
  - \* 審査の一つ前から、自分のポスター近くで待機して発表に備える。
  - \* 生徒・引率顧問とも昼食を持参する。混雑回避のため、工学部食堂は使用しない。
- 7 発表形式 すべての発表をポスター発表形式とする。1題あたりの審査時間は、基本的にプレゼンテーションと質疑応答を含めて6～10分である（プレゼンテーションは4～5分）。
- (1) 物理・化学・生物・地学の4分野を設け、各分野ごとのスケジュールで審査を行う。
  - (2) A0サイズ縦型（1189mm × 841mm、A4サイズで16枚分）を上限として、研究内容をまとめたポスターをパネルに掲示する。
  - (3) ポスターの前に立ち、随時、聴衆に対して説明、討論を行う。
  - (4) ポスターの前に椅子を置き、実物や模型を展示や、タブレット等で動画などを提示することもできる。
  - (5) コンセントの使用、生物や薬品の持ち込みは不可とする。
  - (6) 日本語による発表とする。

- 8 参加資格 宮城県高等学校文化連盟に加盟している高等学校・中等教育学校（4年次～6年次）・特別支援学校の高等部、高等専門学校（1年次～3年次）等の生徒とする。なお、同一生徒が、二つ以上のテーマに重複して参加することは認めない。  
（見学については中等教育学校1年次～3年次も可）
- 9 表彰 すべての発表を表彰する。  
(1) 上位チームの表彰  
物理・化学・生物・地学の4分野において、それぞれ最優秀賞2題と部会長賞2題、合計16題を表彰し、そのうちの各分野上位2題を12月実施の第2回生徒研修会兼全国高校総文祭最終選考会の出場チームとする。（ただし、「かがわ総文祭2025」の全日程に参加することが条件で、3年生のみによる発表題、授業における研究の発表題については除く）  
(2) 審査結果（最優秀賞・部会長賞・最終選考出場チーム）は宮城県高等学校理科学研究会ホームページにて発表する。
- 10 審査基準 全国高等学校総合文化祭自然科学部門の審査基準に準じて、ポスター発表を審査する。  
(1) 発表要旨  
評価はせず、審査のための事前資料とする。  
(2) ポスター発表  
次の4項目について審査する。  
① 先行研究をよく理解している  
先行研究をよく調べて、その内容を理解している。部活動として継続して取り組んでいるテーマについては、先輩が取り組んだことと自分たちが取り組んだことが明確に分けられている。  
② 課題設定が適切である  
先行研究を踏まえ、テーマの設定や目的の設定が適切である。着眼点が優れており、独創性、新規性がある。  
③ 論理的に考察されている  
結果にもとづき論理的に考察されており、矛盾がない。  
④ 結果が適切にまとめられている  
十分な回数の実験が行われており、数値データが適切に処理され、グラフや表が分かりやすくまとめられ、写真や図が効果的に使われている。
- 11 全国推薦 令和7年7月に香川県で開催される第49回全国高等学校総合文化祭(かがわ総文祭2025)自然科学部門の全日程に参加することを条件に、優れた理科学研究を推薦する。最終選考会である第2回生徒研修会（令和6年12月26日(木)開催）に参加すること。  
(1) 研究発表  
物理・化学・生物・地学の4分野についてそれぞれ1題の理科学研究を選考し、推薦する。  
(2) ポスター(パネル)発表  
物理・化学・生物・地学の4分野の中から1題の理科学研究を選考し、推薦する。
- 12 参加費 発表1題につき500円の参加費を徴収する。参加費には要旨集1冊の費用を含む。
- 13 申込み等 (1) 分野、発表題、発表者、見学参加者等の申し込み  
令和6年9月4日(水)～9月12日(木)17時の期間に、「申込み要領\*」に従って必要事項を入力する。  
(2) 発表要旨のファイル提出  
令和6年9月24日(火)～10月2日(水)17時の期間に、「申込み要領\*」に従ってファイルを提出する。

\*「申込み要領」は、8月上旬に「宮城県高等学校理科学研究会ホームページ」に掲載する。

(3) 参加費および追加要旨集代金の納入

令和6年10月18日(金)の第2回顧問会議において、発表1題につき500円を参加費として納入する(参加費には要旨集1冊の費用を含む)。なお、発表数を超える要旨集を希望する場合は、1冊につき500円を追加して納入する。

- 14 その他
- (1) 発表件数・人数を考慮して、分野によっては1次審査と2次審査に分けて実施する場合がある。
  - (2) 1グループあたりの発表人数は問わないが、10名以内が望ましい。
  - (3) 昼食控室は大講義室である(混雑回避のため、工学部食堂は使用しない)。自校の審査時間を考慮して、昼食時間を前半と後半に分けて入れ替え制で使用する場合がある。
  - (4) 大講義室の定員は350名。したがって、開会式は顧問と代表生徒1~2名のみの参加とする。また、特別講義はリモートでの参加をお願いする場合がある。
  - (5) 自然科学専門部の役員、高等学校理科研究会の役員および生徒引率の顧問教員で分担して、前日までの準備や当日の運営にあたる。

問い合わせ先

宮城県高等学校文化連盟 自然科学専門部 事務局  
(宮城県仙台三桜高等学校内) 池田 秀樹  
〒982-0845 仙台市太白区門前町9-2  
E-mail : [ikedahi958@td.myswan.ed.jp](mailto:ikedahi958@td.myswan.ed.jp)  
TEL : 022-248-0158 FAX : 022-248-0482